

第5回歴史探訪

祖国平和統一を願う

「賢仁会」

京都丹波マンガン鉱山探訪



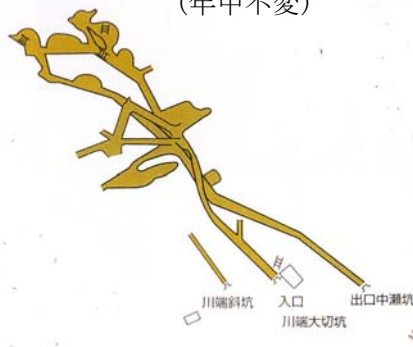
丹波マンガンは2億年の昔、深い海の底に沈殿した。海は山に変わり人びとの利用に供されるところとなった。丹波山系では、1895年ごろから1983年ごろまでの約90年間にわたってマンガンの採掘が続いた。アジア・太平洋戦争から1970年ごろの最盛期まで、約500の鉱床があり300カ所もの鉱山が活況を呈していた。採掘と運搬は、多くの朝鮮人と被差別部落の人びとが担っていた。大砲などに使う鋼鉄の材料でもあったことから、戦争中には、一部の鉱山において強制連行された朝鮮人が作業を強要されていた。

当記念館は、丹波マンガンの生成、開発の歴史、マンガンの利用などにかかかかる資料を収集、展示するとともに、かつての坑内の作業を再現することによって、丹波マンガンの全体像を後世に伝えようとするものである。

日時 2012年11月17日(土)
場所 丹波マンガン記念館
京都市右京区京北下中町大谷45
集合場所 JR三宮駅中央改札南側
車の乗合で、現地まで
集合時間 AM9:30
会費 1500円(弁当付き)
申し込み期日 11月13日まで
鉱内温度が低いので上着を用意



- 見学コース
坑内めぐり 約300m
所要時間 20分~40分
坑内温度 10~12°C
(年中不変)



主催 賢仁会
後援 FPU兵庫
連絡先 080-1487-5386 (担当 福田)